学校番号	T3009

令和8年度　公民科

教科	公民	科目	(学)時事問題	単位数	1単位	年次	2年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

日本をはじめ世界で起こる様々なニュースに触れ、現代の諸問題を追及したり解決したりする活動に触れ、現代世界の実相に対する理解を深め、考察する能力を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】現代の諸課題に触れ、歴史や文化、地理などを総合した社会的な見方・考え方を働かせられるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】現代の諸課題について、多角的・多面的に事象をとらえ、広い視野に立てるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題についての興味・関心を深め、国際社会や国家、社会の有為な形成者となる素養を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	政治的な分野・経済的な分野・文化的な分野など、日本国内や国際世界で起きている事象を、歴史や文化、地理などを踏まえた上で理解できる。 さらに、その方法の一助として、新聞記事やネット記事の利用する技能を身につける。	諸課題について、多面的・多角的に捉えた上で、自分なりの考えを持ち、それを表出することができる。	現代に起きている諸課題について興味関心を持ち、自らそれらの内容や解決方法、そして自分はどのような立場をとるべきかということについて、探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	政治経済分野	国内・国際を問わず、近年生じている政治・経済的なニュースを1例、取り上げてその背景、今後の展望などを学ぶ。	a:基本用語の正しい理解とその使用ができている。 b:その出来事の原因・経過・生じている結果を整理することができる。 c:解決のための複数の選択肢をあげて、メリット・デメリットを比較しようとしている。自分自身ならどれを選択するか文章化することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業プリント	比較表 レポート
後期	国際社会分野	近年生じている国際社会を舞台にしたニュースを1例、取り上げてその背景、今後の展望などを学ぶ。	a:基本用語の正しい理解とその使用ができている。 b:その出来事の原因・経過・生じている結果を整理することができる。 c:解決のための複数の選択肢をあげて、メリット・デメリットを比較しようとしている。自分自身ならどれを選択するか文章化することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業プリント	比較表 レポート
	地球環境分野	国内・国際を問わず、近年生じている環境ニュースやSDGSの取り組みなどを1例、取り上げてその背景、今後の展望などを学ぶ。	a:基本用語の正しい理解とその使用ができている。 b:その出来事の原因・経過・生じている結果を整理することができる。 c:解決のための複数の選択肢をあげて、メリット・デメリットを比較しようとしている。自分自身ならどれを選択するか文章化することができる。	定期考査 確認テスト	定期考査 授業プリント	比較表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度